

平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について

津山市立広野小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

心豊かに 自ら学び ともに伸びゆく子どもの育成
「きき合い 学び合い 助け合う子」

今年度の指導の重点

- あいさつ
- きまり
- 掃除

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

- 全国
- 国語Aでは「話すこと・聞くこと」領域の正答率がかなり高い。(本校90.9%、岡山県80.5%)
 - 国語ABともに「読むこと」領域に課題があり、正答率において県平均を下回った。
 - 算数Aの小数除法の結果を確かめる式を求める問題では県平均を上回った。(本校100%、岡山県87.1%)
 - 算数Bでは、「数や図形についての知識・理解」の観点の正答率がかなり高いが、「数や図形についての知識・理解」の観点と「数量関係」領域において課題があり、算数ABの正答率において県平均を下回った。
 - 国語A算数Aにおいて、無回答率が県平均より低い問題が半数以上ある。
 - 国語B算数Bにおいて、後半の問題において無回答率が高くなる傾向がある。

県

- 国語、数学、理科については県平均を上回り、特に基礎問題では成果が見られた。
- 社会については県平均と同程度で、基礎問題は県平均より高いが、活用問題に課題がある。
- 全教科で無回答率が県に比べて低い問題が多く、粘り強く取り組む姿勢が見られるが、国語の後半の問題で無回答率が高くなる傾向が見られた。
- 経年比較では国語と理科の基礎問題に成果が見られるが、数学と理科の活用問題に課題がある。

【学習状況調査の結果】

- 平日にゲームを2時間以上する児童の割合は県平均より高く、テレビ・ビデオ等を2時間以上視聴する児童の割合も高く、県平均を上回る。
- 家庭学習では、平日の学習時間が1時間以上の児童の割合が県平均よりも低いが、学校の宿題に取り組む児童の割合は県平均を上回っている。
- 読書に平日30分以上取り組む児童の割合は県平均よりも低い。
- 「近所の人に会ったときは、挨拶している」に肯定的な回答をした児童の割合が県平均よりも高い。(本校94.1% 岡山県93.9%)
- 「友達との約束を守っている」に肯定的な回答をした児童の割合は県平均より高い。
- 授業における「めあて・まとめ」に関する肯定的な回答は県平均を下回っているが、「学習内容を振り返る活動」については県平均をかなり上回る。(本校90.9% 岡山県81.4%)
- 国語AB、算数ABともに、「解答時間が十分だった」に肯定的な解答をしている児童の割合は県平均よりも低い。

成果と課題

- 算数では、引き算や不等号の理解など低学年の内容の定着に成果が見られるが、高学年の学習内容に課題が見られた。
- 算数Bでは、示された例に沿って考え方などを記述する問題に課題が見られた。
- 読書時間が短く、解答時間不足を感じている児童が多い。問題を読みこなす力に課題があると思われる。
- 「テレビ等の視聴時間が長い」「家庭学習時間が短い」「予習・復習に取り組みに肯定的でない」児童の割合が多く、改善が必要である。
- 「授業の最後に振り返りがあった」と感じている児童が多く、授業の改善が見られた。
- 無回答率が県平均よりも低い問題や「記述式の問題解答に最後まで努力した」と答えた児童の割合が県平均よりも高く、粘り強く課題に取り組む姿勢に成果が見られた。

課題に対応した改善方法

- 朝学習や家庭学習の活用等を通して、現在の学習内容以外の既習事項の復習に取り組む。
- 読書週間や土日曜日の課題を活用し、読書量を増やす。
- 授業公開等の校内研修の充実を図り、「めあて・まとめ」のある授業づくりに取り組む。
- ペア学習やグループ学習を取り入れた授業づくりに取り組み、自分の考えを書いてまとめた説明したりする活動の充実を図る。
- 学校全体で統一した自主学習ノートの取り組みを充実させ、家庭学習の時間や内容の向上を図る。
- ノーマディア週間や生活点検週間の取り組みをPTAと連携して定期的に取り組む。
- 中学校の生徒指導重点「あいさつ 掃除 時間を守る」とつなげた取り組みに実践的に取り組む。
- 問題データベースを全学年で活用し、学習内容の定着を図る。

取組の検証方法及び検証時期(2学期末及び年度末)

- 児童アンケートを期日を決めて実施し、課題把握と改善に活かす。(学期ごと)
- 保護者アンケートを行い、課題把握や改善に活かす。(12月)
- 2年以上で標準学力調査とハイパー・QUを実施し、結果を校内研修で共通理解して取り組みづくりを行う。(7月)
- ノーマディア週間(中学校テスト期間に合わせて)や生活点検週間(学期始め)の取り組みを行う。
- 児童会を中心とした挨拶運動を実施する。(毎学期)

各校の具体的な達成目標(数値目標等)

- 授業における「めあて・まとめ」「ふり返り」に肯定的な回答をする児童の割合が県平均を上回る。
- 授業における「友達との話し合う活動」に肯定的な回答をする児童の割合が県平均を上回る。
- 3年生以上で自主学習ノートに取り組む児童の割合80%以上を目指す。
- ノーマディア週間と生活点検週間の取り組みの実施。
- 児童アンケートの「あいさつ」「きまり」「そうじ」の取り組みに肯定的な回答をする児童の割合80%以上を目指す。